



○ 草の根協力支援型

平成25年度第2回 採択内定案件

| I. 提案事業の概要 | |
|--------------------|--|
| 1. 対象国名 | ガボン |
| 2. 事業名 | ムカラバ地域におけるエコツーリズム開発のための現地ガイド養成 |
| 3. 事業の背景と必要性 | 事業対象地域は生物多様性が高く、日本人研究グループによってその研究と保全が進められてきた。現在、対象地域では政府によるエコツーリズム(ET)の導入が企画されている。しかし、地域住民がETの利益を享受する仕組みが未整備である。ETへの地域住民による主体的な参加を促し、対象地域の人と自然が調和した持続的発展を達成するには、本事業提案者が開発、推進してきたツーリズムのガイド技法であるインタープリテーションが有効と考え、提案にいたった。 |
| 4. プロジェクト目標 | 対象地域の住民がインタープリテーションに基づく観光開発の理念を理解し、主体的に観光開発に関わる意思と技能を身につける。 |
| 5. 対象地域 | ニヤンガ州ムカラバ・ドウドウ国立公園およびその周辺地域 |
| 6. 受益者層(ターゲットグループ) | ムカラバ・ドウドウ国立公園周辺住民 |
| 7. 期待されるアウトプット及び活動 | <p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インタープリテーション指導者の育成 2. ガイド技能の習得とエコツーリズム振興のための住民グループ作り 3. 地域の自然・文化の観光資源化 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インタープリテーション指導者の現地研修、テキスト作成 2. 地域ワークショップの開催、環境教育、エコツーリズム振興グループの立ち上げ 3. 観光資源(自然、文化)調査、観光プログラムの提案、ガイドブックの作成 |
| 8. 実施期間 | 2015年1月～2017年3月(2年3カ月) |
| 9. 事業費概算額 | 17,976千円 |
| 10. 事業の実施体制 | 一般社団法人エコロジックが事業運営を行い、インタープリテーション専門家(プロジェクトマネージャー)、文化人類学、保全生態、ゴリラ調査の専門家を現地に派遣する。現地での活動にあたっては、カウンターパートである現地NGOのPROGRAMと協働し、ガボン科学技術研究センターとも連携する。ガボン側監督官庁は国立公園局。 |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名 | 一般社団法人エコロジック |
| 2. 活動内容 | 海外、国内において、自然環境と地域文化の調和をはかるための開発手法であるエコツーリズムの研究開発、コンサルティング |